

## 【ホームページへの掲載用の研究概要】

研究課題名 早期糖代謝異常が動脈硬化に及ぼす影響に関する年代別検討

本研究は、ちば県民保健予防財団 人を対象とする医学系研究に関する倫理審査委員会および千葉大学大学院医学研究院臨床倫理審査委員会の審査結果（承認）を踏まえて理事長が許可をした研究であり、平成 23 年 4 月から平成 28 年 3 月までの間に節目健診を受診した千葉県職員を対象に、健診の結果に基づき、糖代謝異常と動脈硬化の指標である動脈脈波伝播速度との関連を後ろ向きに評価し、その関連性を検討することを目的として実施します。研究期間は平成 31 年 3 月 31 日までの予定です。

この研究により糖代謝異常による大血管障害が従来の認識よりも早期から生じると判明すれば、より早期からの積極的な介入の有用性が明らかになります。心血管病の背景となる糖代謝異常に対する認識を変え、予防介入の時期・方法における新たなスタンダードを作りうる可能性や課題が明らかになることが期待されます。

本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりです。

- 1.本研究は節目健診結果のみを収集する疫学研究であり、本研究のために人体資料の採取は行いません。
- 2.受診者の皆様の個人情報を削除し、個人が全く分からない状態でデータの分析を行います。
- 3.研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人を特定できる情報を公表することはありません。
- 4.本研究の主任研究者及び分担研究者は、本研究に関する利益相反はありません。

本研究は、定期健診受診時に健診結果を学術研究に使用することについてご同意いただいた方について、誰のデータか分からない形で提供を受けて実施します。ご自身のデータが利用されることについてご同意いただけない場合は、平成 31 年 3 月 31 日（データ収集から解析を含む期間）までにお申し出ください。お申し出のあった場合は、あなたのデータを削除した後に、当財団にご提供いただきます。

本研究にご自身のデータが利用されることについてご同意いただけない場合や、本研究についてのお問い合わせにつきましては、下記までご連絡ください。

研究責任者

公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター  
副センター長 角南 祐子